



地酒でも
もらおうかな

昔はね、 親不孝通りっ て呼んでたよ!

路面に埋設されたネオンが夜の町をほのかに照らす。で、味光路。入り組んだ路地になんと飲食店が130店。居酒屋、割烹からバーやクラブまでひしめき合う。



もう一軒
いっかあ!



元々漁師の 息子やってんで。

元気で会話の楽しい店主は6代続いた漁師一家。約40年前に開店し、今も連夜大繁盛する。新鮮な魚は、早朝から船を出し自ら釣ってくることもあるとか。献立は約100種類。どれも安くて美味いと、地元でも人気の大型居酒屋。

しんべ

住所 / 田辺市湊1002-9
電話 / 0739-24-8845

名物のえび団子(450円)はブリッリのふわふわ。



焼き鳥
もう焼けるで



とつくり

住所 / 田辺市湊1167-4
電話 / 0739-24-7952

獲れたてのヨコワはモチモチの食感でまるで大トロ。黒潮が間近に流れる和歌山だからそこそこ馳走だ。

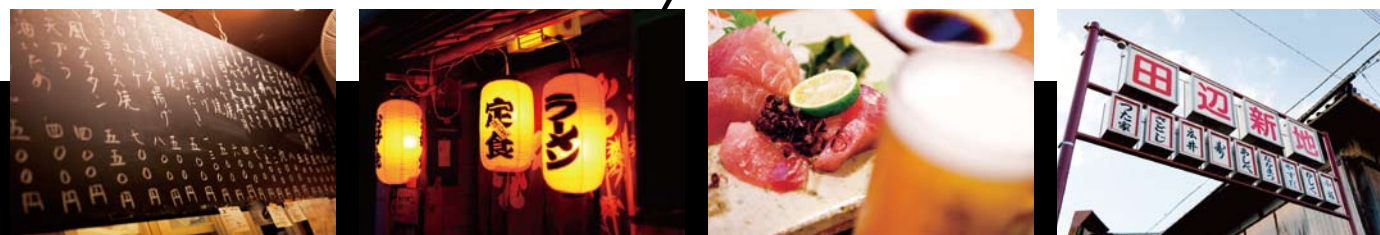
もちよこわ、 食べたこと あるか?

旬の魚にとことんこだわる居酒屋。カウンターに座り、日替わりのおすすめの刺身を注文し、燗酒でも飲みながら店主と会話を楽しむ。大人の夜の正しい時間の過ごし方だ。



座席間隔や足元スペースが広がった新型車両287系

Cool! Deep! TANABE!



田辺は夜が艶やかな町。気さくな大将とうまい肴に酒が進む。つつい調子に乗ってもう一軒。今夜も味光路でまた一杯。

Cool! Deep! Wakayama

クール! ディープ! ワカヤマ

紀伊半島を旅するってことは、きのくに線にゆられるってこと。



夏は
暑いんやで

今も全部、 手焼きなんですわ。

お菓子の製造販売と卸を営んで80年のともゑ堂。3代目のご主人が焼く煎餅は添加物を一切使わず、昔ながらの優しい甘さ。店内に立ちこめる香ばしいにおい、なぜかほっとする。

ともゑ堂

住所 / 田辺市南新町47
電話 / 0739-22-1260

御菓子司鈴屋

住所 / 田辺市湊1022
電話 / 0739-22-0436

パッケージも
お気に入り

店頭で並べられた懐かしいステンレスのケース。色んなお菓子を量り売りで販売。

田辺市内で
ゆつくり安らく
鎮守の森

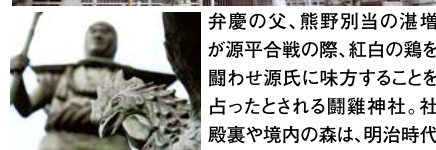
大阪や東京でも
売ってます!



たな梅

住所 / 田辺市福路町39
電話 / 0739-22-5204
田辺のお土産といえはなんば焼と呼ばれる蒲鉾が人気。150年続くたな梅付近はかまぼこ通りと呼ばれる。(1枚1260円)

武蔵坊弁慶と 南方熊楠の関係は 闘雞神社にあり?



闘雞神社

住所 / 田辺市湊655
電話 / 0739-22-0155

弁慶の父、熊野別当の湛増が源平合戦の際、紅白の鶏を闘わせ源氏に味方することを占ったとされる闘雞神社。社殿裏や境内の森は、明治時代の神社合祀令の伏採から自然保護を訴える南方熊楠が守った。熊楠の妻、松枝さんは闘雞神社宮司の四女で、熊楠との夫婦喧嘩では度々帰郷したとか。

特急で和歌山駅を出発し、海と山の大パノラマを楽しむこと60分。



和歌山県の海岸線をぐるっと一周するJRきのくに線。南下することに増す空の青さ海の青さ。陽気な地元の人たちに出会う。

【JRきのくに線●紀伊田辺】

和歌山市からJRきのくに線で約1時間。紀伊田辺駅を降りるとそこは武蔵坊弁慶のふるさと田辺市。熊野古道の入口、口熊野として重視され、江戸時代には紀伊田辺藩の城下町として栄えた。今もアオイ通りや上屋敷町など当時を偲ぶ地名が残る。穏やかな一日を終えると艶やかな時間が始まる。紀伊田辺駅の近く味光路は、130店舗もの飲食店が軒を並べる和歌山県随一のナイトスポット。路面に埋め込まれたネオンが酔客の足下を照らす。のれんをくぐる」と「いらっしやい」と店主の威勢のいい声。紀南自慢の新鮮で美味しい魚貝類を着にビールを一杯。隣には人懐っこい地元のお客さん。意気投合しいつの間にか「一緒に乾杯!」。

紀伊田辺の次が
白浜だよ!

パンダシートは一部の特急くろしお号に設置されています。